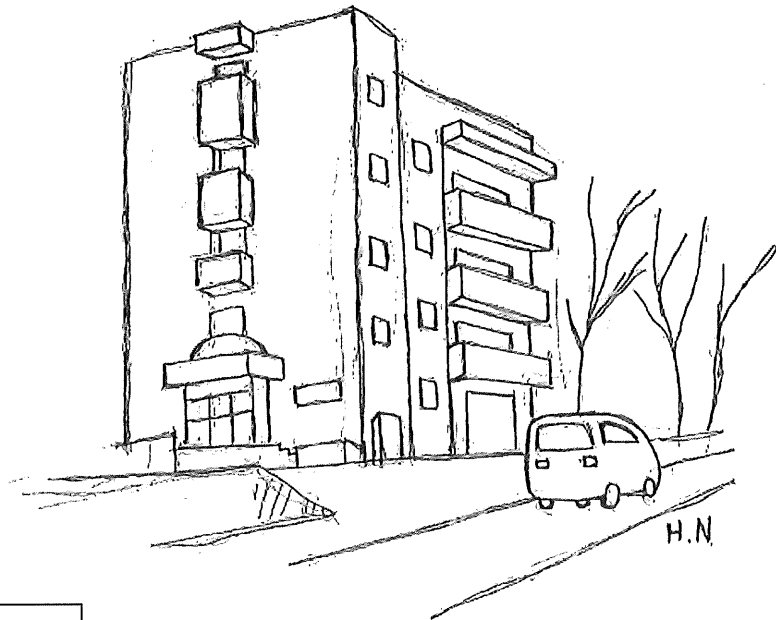


# 旅立ち

社会福祉法人しらとり会  
利用者通信 (NO. 37)  
平成 30 (2018) 年 6 月 1 日発行

今月は、5 名の方からの投稿です。



自分でしている姿にきをつける  
ものは居ないからね。鏡に映る  
自分の姿は見えても普段は見え  
ないからね。 (SM)

落語・相の手都々逸・総選挙

○ 「フルーツの総選挙をやりました」。  
(どうだった?)

「キウイは、九位でした」。

○ 「お医者様の総選挙をやりました」。  
「動物病院のお医者様は、十位でした」。

(岡本 祐子)



- 精神科治療をリフレーミングする。
- 同じ事を何度も言わせてその通りに行動する訓練をさせる、これが一般的な精神科の治療の仕方ではあるが、これでは病気は治らない。
- 何故ならば本人の意思形成過程が飛んで、精神科医の合わない考えが入っているからだ。
- 本人の感情が無視されているのでつまり本人が考えたわけではないので、本人の病気は治っておらず、再発するのは当たり前だ。
- 再発するようにしか現代の精神科治療はなっていない。
- 精神医学の責任か精神科医の責任のどちらかである。
- 強制治療は何の意味もない。

(加藤忠男)

#### 【投稿の募集】

利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、6月15日(金)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.、T.、Y.Y.